

地域との連携手法開発に関する研究

早稲田大学
WABOT-HOUSE
研究所



子供へのロボット啓発



WABOT-HOUSE
辻説法



研究公開企画運営



企業向け技術紹介



柳ヶ瀬での公道実験



ものづくり教室企画運営

ロボット技術を岐阜の文化にするために

地域社会と大学との連携手法の開発や、ロボット技術を産業化してゆく道筋について社会科学や地域活性化、産業振興の観点からの研究を行っており、その成果を基に講師やコーディネーターが企業との連携を進めています。

また「ロボット技術の社会的あり方に関する研究委員会」を開催しロボット技術が産業化し社会の中で使われる時代にどのような問題が起こるかを岐阜の産官学有識者により議論し研究を進めてきました。

地域社会へのロボット技術の広報・啓発のための「WABOT-HOUSE辻説法」や子供向けのものづくり教室を企画運営するなど、ロボット技術を広める為に岐阜を中心とした地域社会に出る活動を行い、研究所の敷居を下げるための努力を設立当初より継続しています。

担当：岐阜研究所 小笠原講師(都市論)、
多賀・松永コーディネーター



この他イベント出展、移動教室なども多数

メール：wabot-house@list.waseda.jp